

笛吹市地域おこし協力隊 平成 28 年度活動報告

農業担当 八木優彰

【活動期間】平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

【配 属 先】農事組合法人 アグリ ONE

【活動目標】就農に向けた果樹（ブドウ、桃）栽培技術習得、笛吹市の農業の魅力の発信

【活動形態】

笛吹市から委託された農業組合法人アグリ ONE において、構成農家 4 軒を各 6 日ずつ月間 24 日のサイクルで回り、年間を通しての栽培技術を学んでいる。

【活動概要】

① 4 軒の農家での圃場実習

私の活動の、第一目標である任期後の就農定住に必要な果樹の栽培技術取得のためアグリ ONE を構成する各農家で、冬から春にかけての各作業の研修を行った。

・風間家（栽培品目：桃・ブドウ・野菜）

アグリ ONE で唯一、ブドウより桃の経営面積が多く 20 種弱の桃を栽培している。

12 月からの研修内容は、改植のための伐採、剪定、摘蕾、摘果、受粉、棚直し、トウモロコシ播種、など。

また、八代地区都市農村交流推進協議会の会長を務めるなど、地域活動の幅が広く、そうした活動を紹介してもらっている。



・秋山家（栽培品目：ブドウ）

ブドウの専門農家。特に話題のシャインマスカットの面積が大きく、圃場が非常に綺麗に管理されている。最新の栽培技術を取り入れている。

12 月からの研修内容は、剪定、移植、改植、棚立て、苗木管理など。

私自身、ブドウでもって就農を考えているので、何を聞いても明確に教えてくれ、品質の高いブドウづくりの勉強になると考えています。



・竹野家（栽培品目：ブドウ）

ブドウの専門農家。加温ハウスを主体に、露地でも栽培している。アグリ ONE で唯一、加温ハウスでの栽培に取り組んでいる。

12月からの研修内容は、剪定、誘引、棚直し、房づくり、ジベレリン処理、摘粒、傘かけ、トラクター・乗用草刈り機・チップパー操作。

加温ハウスでは露地と比べて数か月先取りの研修ができ、農機具操作や剪定なども積極的に手を出す機会を与えてくれる。また、地域団体の長も務める経験が多く、そうした集まりに誘ってくれている。



・石倉家（栽培品目：ブドウ・桃）

ブドウと桃の栽培農家。露地のブドウが主で、桃の栽培も行っている。多品目のブドウがある。

12月からの研修内容は、剪定、移植準備、移植、伐採、堆肥まき、バックホー・運搬車操作。

一緒に作業をしていると、どの作業も素早く判断して手を動かすのが印象的。ほかの3軒では見られない、往年の名品種がみられる。合理的な考え方で休憩中の趣味の話が面白いです。



② 特産品を活用した加工品の開発製造

第一弾として、生育過程で通常廃棄されている摘果桃を有効利用して、加工商品の開発製造を目指しています。

摘果桃の加工だけに留まらず、継続してラインナップを増やし、将来的な収入源の確保、笛吹市の農産物の PR、活動の過程での人とのつながりを広げていきたいと思えます。

【今後の活動目標】

- ① 引き続き、圃場での通年管理を学ぶため、現在のペースで研修を継続する。
- ② 就農を希望する人に向けて、自分のやっていることを説明できるよう、まずは一年の圃場実習を大切にする。
- ③ ①と並行して、笛吹市の特産品を活用した加工品の開発製造に取り組む。
- ④ 業外の活動として、地域でのつながり（特に農業に関連した）を増やすため、地域の団体に加入する。